

第14回建設業経理士検定試験 1級財務分析

〔第1問〕 解答にあたっては、指定した字数以内（句読点含む）で記入すること。

問1

	10	20	25
5	健全性分析とは、資本の調達と運用における財務のバランスの良否を分析することをいう。なお、この健全性分析を3つに区分すると、資本構造分析、投資構造分析、利益分配性向分析となる。まず、資本構造分析とは、資金調達面において、主として自己資本と他人資本のバランスの良否を分析することをいい、自己資本比率や負債比率などが用いられる。次に、投資構造分析とは、資本の運用面において、主として有形固定資産とその資金調達のバランスの良否を分析することをいい、固定比率や		
10	固定長期適合比率が用いられる。最後に、利益分配性向分析とは、利益分配の程度を分析することをいい、配当性向や配当率が用いられる。		

問2

名称	固定比率	10	20	25
説明	固定比率は、返済を要しない自己資本で固定資産をどの程度まかなっているかを示すものであり、100%以下が望ましいとされる。			

名称	固定長期適合比率	10	20	25
説明	固定長期適合比率は、返済期限が長期である固定負債および返済を要しない自己資本で固定資産または有形固定資産をどの程度まかなっているかを示すものであり、100%以下が望ましいとされる。			

〔第2問〕

記号（ア～ニ）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
ニ	エ	ク	ウ	タ	ト	チ	セ	ナ	キ

〔第3問〕

(A)

1	6	8	6	5	0
---	---	---	---	---	---

 百万円（百万円未満を切り捨て）(B)

1	6	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---

 百万円（同 上）(C)

5	5	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---

 百万円（同 上）(D)

8	4	0	0	0	0
---	---	---	---	---	---

 百万円（同 上）

第14回建設業経理士検定試験 1級財務分析

〔第4問〕

- 問1

7	6	4	5	0
---	---	---	---	---

 円 (円未満を切り捨て)
- 問2

5	2	7	5	0
---	---	---	---	---

 円 (同 上)
- 問3

7	3	3	0	0
---	---	---	---	---

 円 (同 上)
- 問4

3	4	7	5
---	---	---	---

 % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)

〔第5問〕

問1

- A 総資本事業利益率

1	6	8
---	---	---

 % (小数点第3位を四捨五入し、第2位まで記入)
- B 完成工事高キャッシュ・フロー率

0	6	6
---	---	---

 % (同 上)
- C 運転資本保有月数

0	2	9
---	---	---

 月 (同 上)
- D 立替工事高比率

3	0	4	1
---	---	---	---

 % (同 上)
- E 未成工事収支比率

2	1	1	0	4
---	---	---	---	---

 % (同 上)
- F 流動負債比率

2	6	9	7	7
---	---	---	---	---

 % (同 上)
- G 固定比率

2	3	7	0	2
---	---	---	---	---

 % (同 上)
- H 借入金依存度

3	6	7	2
---	---	---	---

 % (同 上)
- I 棚卸資産回転期間

0	3	5
---	---	---

 月 (同 上)
- J 設備投資効率

1	2	2	6	6
---	---	---	---	---

 % (同 上)

(別解) F 流動負債比率: 300.67%

問2

記号(ア～モ)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
オ	ネ	キ	イ	ト	コ	ノ	チ	セ	ニ